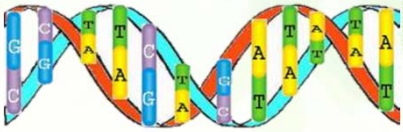
第14回
家族性腫瘍セミナー

効果的な薬物療法を選ぶための検査に遺伝子の情報を用いたり、社会的に“がんゲノム医療”が話題になったり、遺伝性腫瘍診療もがん診療の一つの側面として捉えられ始めています。
がん診療に携わるすべての医療者に知っておいていただきたい基本的な内容から、最新の情報まで幅広い話題についてお話しします。

日　時：2019年**8**月**23**日(金)　18時10分～20時30分

会　場：四国がんセンター 本館3階研修室
（愛媛県松山市南梅本町甲160番）



対　象：医療関係者　※職種は問いません

＜内　容＞

情報提供　18時10分～18時30分

「乳癌治療における話題について」

大鵬薬品工業㈱ 高松支店 学術課
奥山 樹 氏

講　演 Ⅰ　18時30分～19時30分

「遺伝性腫瘍診療から広がるがんゲノム医療
～リンチ症候群や遺伝性乳がん卵巣がんの知見を活かして」

FMC東京クリニック 医療情報・遺伝カウンセリング部 部長
順天堂大学医学部附属順天堂医院 遺伝相談外来 認定遺伝カウンセラー（米国・日本）
田村 智英子 先生

講　演 Ⅱ　19時30分～20時30分

「卵巣癌診療におけるHBOC遺伝子検査の今後」

新潟大学医学部産科婦人科学教室 准教授
関根 正幸 先生

司　会：大住 省三 先生　独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター
乳腺外科 遺伝性がん診療科 がん診断・治療開発部長

＊参加費・事前申込みは不要です（お車でご来院の方は駐車場料金が必要です）
＊本セミナーは愛媛県医師会の生涯研修単位の対象です。

問い合わせ：四国がんセンター TEL 089-999-1111（担当：遺伝性がん診療科）
共　　催：四国がんセンター、大鵬薬品工業株式会社、アストラゼネカ株式会社